

平成 22 年度・第 1 回班長会議議事録

特例民法法人 岐阜県臨床検査技師会

日時 平成 22 年 6 月 1 日 (火) 18:30~20:30

場所 岐阜市藪田南 3-5-10 技師会事務所

出席者 永井・近藤・加藤・浅野(裕)・森・浅野(敦)・渡邊・八木・日比・牛丸・横山
11 名

委任状 なし

1. 副会長・部長挨拶・一般研究班長交代挨拶。
2. 前年度学術費会計報告と今年度学術予算についての報告。
3. 第 49 回中部医学検査座長 4 名についての報告 生理(心電図):野久(岐阜大学)・臨床化学:渡邊(東海中央)・輸血:佐藤(岐阜大学)・病理:浅野(大垣市民)についての報告があり、会長の了承を得て報告する。
4. 研修会開催後の会計処理について、1 週間以内に JAMT の登録・決算書報告・参加一覧表・領収書報告をする手順について再確認した。
5. 非会員についての扱いについて検討した。会員のメリットを出すために、班長会議にて非会員は 2000 円徴収する案を可決した。今後、常務理事会・理事会の承認を得て進めてゆきたい。但し、新人技師に関しては特例として岐臨技に入会して頂けることをお願いして 300 円徴収することで確認した。又、県外・他職種の技師に関しても 300 円徴収することで確認した。
6. 平成 22 年度岐阜県臨床検査技師会誌の計画案を報告した。来年 3 月末の発刊をめざし、10 月までに各研究班 1 論文を報告して 12 月に第 2 回班長会議にて審議することにした。前年度は発行出来なかったもので、今年度は必ず発行する。(予算 50 万)学術カレンダーの学会発表・投稿より岐阜県の演題発表(全国・中部・岐阜地区)が確認出来るので該当演題を確認して投稿準備する。
7. 全国学術部長会議の報告(若手参加型技師会を作るには)について報告した。内容として「学術」・「コミュニケーション」・「情報」などがキーポイントとなっており、今後の研修会開催についての参考資料として内容を説明した。内容から携帯サイトからの情報取得が若手会員から多いことより、今回いそいで携帯学術カレンダー 2010 を作成して各研究班長に報告した。
9. 理事会報告をした。